

— 農の雇用事業による取組事例 —

山形県天童市 株式会社和農産

- 前職のスキルや研修生個々の特性を把握し、適材適所に配置。
- 産休・育休制度の整備など働きやすい環境づくりを実践し、従業員が定着。

(株)和農産の概要

【設立】平成20年12月

【代表者】矢野 仁

【売上】50,000万円

【事業内容】和牛の繁殖・肥育、酪農など

【経営面積】和牛肥育約800頭、繁殖約300頭、乳牛約40頭

【主要取引先】山形県食肉公社等

【従業員数】10人

【所在地】山形県天童市大字山口3539

【ホームページ】<http://www.nagominousan.jp/>

【会社の特徴】飼料用米の県内大量調達により飼料の自給化に成功。食肉販売にも関わる6次産業化で和牛一貫経営を目指す。

研修・人材育成の取組内容

【研修概要】

- ・研修は、牛舎の温度・衛生管理や牛の健康管理などの肥育技術、肉牛の飼料管理や繁殖牛管理、出荷牛の選別など、肥育・繁殖に加え肉用牛経営に必要な技術を習得します。
- ・飼料米を使ったエサづくりやパソコンによる作業管理など、上記研修の他に研修生に役割を持たせることで、責任とやりがいを持って取り組めるようにしています。

【雇用就農者の定着に向けた特徴的な取組】

- ・米をブレンドした独自の飼料づくりなど、社長の発想による取り組みを社長自ら実践する姿勢を見せながら指導しています。
- ・大型特殊・フォークリフトなどの資格活用に加え、溶接など前職のスキルや研修生個々の特性を把握し、適材適所に配置しています。
- ・産前産後や育児の休暇を就業規則で定めるなど、女性が働きやすい環境づくりにも配慮しています。
- ・毎朝必ずミーティングを行い、一日の業務内容を共有。全員参加の旅行も毎年実施し、社内における懇親を図っています。
- ・農の雇用事業により基本作業の早期習得が図られ、売上が2億円から5億円に、また従業員が4人から10人へと事業規模の拡大につながりました。
- ・企業名(和農産)や黒毛和牛のブランド名(和の奏)に込めた「和」の思いを現場従業員と共有しています。

【雇用就農者の定着に向けた今後の取組】

- ・現場の従業員が働きやすいよう、さらに職場環境の改善を図っていきます。

キャリアプランイメージ

農の雇用事業でのOJT(2年)

- ・肉牛の肥育技術の習得
- ・繁殖牛管理を含む一貫技術の習得

部門責任者(12年目～)

- ・担当部門での生産計画の立案・管理
- ・堆肥等の注文・管理

場長(部門責任者の経験10年経過後から)

- ・現場における意思決定
- ・職場環境の維持・改善

